

# 第57回松山野球拳おどり 新型コロナウイルス感染症

## 感染対策について

記載の通り、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の徹底をお願い致します。

### 1. 参加者の感染リスクと対策について

#### ①練習時

場 面	想定リスク	感染症対策
練習前	打ち合わせや練習会場に踊り手が密集することによる感染リスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・打ち合わせや練習は、オンラインツールを積極的に活用する。</li> <li>・練習への参加者全員に手指消毒、検温、マスク着用を徹底する。</li> <li>・発熱症状や倦怠感があるなど、体調がすぐれない場合は練習への参加を見送る。</li> <li>・更衣室やトイレなど不特定多数の者が使用する場所は消毒してから使用する。</li> <li>・自分で出したゴミや飲料物などはゴミ箱に廃棄せず、自ら持ち帰る。</li> <li>・練習参加者が使用する場所や床は練習前に清掃・消毒を行ってから使用する。</li> </ul>
	屋内で練習する場合の感染リスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な身体的距離を保てるよう、特に屋内については十分な広さの練習会場を使用する。</li> <li>・練習前には窓を全開にし、十分換気を行い練習する。</li> </ul>
練習中	踊り手同士の飛沫感染リスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・踊り手と踊り手の間隔を2m以上開けて練習する。</li> <li>・かけ声はできる限り控えることとし、出す場合は踊り手同士が対面とならないようにする。</li> <li>・一定時間で練習を区切り、練習の合間に窓を開けて換気を行うとともに、床面などの清掃を行う。</li> <li>・練習中も可能な方はマスク（フェイスシールド）を着用する。ただし、熱中症に注意し、体調が悪くなる場合はマスクを外すか休憩を取る。</li> <li>・ミーティング時にはマイクを利用するなど、近距離での発声を抑制する。</li> </ul>
練習後	使用した物品や場所へのウイルス残存による感染リスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会場の床面や共用スペースの消毒・清掃を行い、退出する。</li> </ul>
	練習後にマスクを外して会話をすることによる感染リスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・練習後も参加者全員がマスクの着用を徹底し、ミーティングは密を避けて短時間で終わらせる。</li> <li>・練習後は、大人数での懇親会や会合等を自粛する。</li> </ul>

## ②開催当日

場 面	想定リスク	感染症対策
集合前	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 連チームの参加者(関係者)及び運営スタッフは、まつり本番当日に<u>検温及び抗原検査を実施</u>する。(体温 37.5℃以上や体調不良、抗原検査で陽性の場合は参加を見合わせる。抗原検査費用は参加者負担。)</li> </ul>
集合時	控室で三密が発生することによる感染リスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 換気の良い広い控室を確保し、手指消毒を徹底する。</li> <li>・ 体調不良の場合は、当日であっても参加を見送る。</li> <li>・ 着替え中も全員がマスクを着用し、飛沫感染を防止する。</li> <li>・ 可能な限り自宅で衣装などの準備を行う。</li> </ul>
移動時	集合するまでの移動などに伴う感染リスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移動時もマスクを着用し、交通機関を利用する場合は間を空けて座るなど、適切な距離を保つ。</li> </ul>
演舞中	踊り手同士が密集して踊ることによる感染リスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 踊り手と踊り手の間はできる限り 2m 以上の間隔を取ることにし、踊り手同士が向かい合うようなパフォーマンスはできる限り控える。</li> <li>・ 演舞場内でのかけ声は、できる限り控えることにし、出す場合は踊り手同士が対面としないようにする。</li> </ul> <p>※本番中のマスク着用は求めない</p>
演舞後	演舞後に踊り手が密集することによる感染リスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 退場した踊り手は出口に留まらないよう、速やかに移動する。</li> <li>・ 演舞後は、大人数での慰労会等を自粛する。</li> </ul>

## 2. 参加者の健康管理について

- ・ 連チームの責任者(衛生管理責任者)は、参加者名簿を作成し、全員の連絡先を把握しておく。
- ・ すべての参加者は、練習の参加日及び、本番前 2 週間は毎朝自宅にて検温を行い、体調管理を徹底する。
- ・ すべての参加者は、新型コロナウイルス感染症確認アプリ(COCoA)や「えひめコロナお知らせネット」を日常的に持ち歩くスマートフォンにインストールする(※スマートフォン保有者のみ)。
- ・ 練習中の感染拡大を防ぐため、練習の行き帰りを含めてマスクの着用を全員が徹底し、練習後は手洗い、またはアルコールによる手指消毒を行う。
- ・ 大人数での懇親会や慰労会等は、自粛する。

## 3. 感染発生時の対応

- ・ 参加連チームは、まつりに関係する活動中にメンバー内で陽性者が発生した場合、保健所等の指示に従い、早急に濃厚接触者を確認し、練習の中止等必要な措置を行うとともに、松山野球拳おどり実行委員会へ報告する。
- ・ 松山野球拳おどり実行委員会は、保健所等から本まつりに参加した方(練習や本番・準備含む)が感染していたと連絡があった場合は、保健所等の指示に従って対応する。

## 4. その他

- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、適宜当感染対策を見直し、運用する。